令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	現代の国語	単位数	2	必修・選択	対象学年	１学年
使用教科書	新編　現代の国語　改訂版　（大修館書店）					
副教材等	新訂　チャレンジ常用漢字（第一学習社）					

1　学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
⑴ 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
⑵ 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
⑶ 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2　道徳教育，キャリア教育との関連

道徳教育	言語文化に関する関心を深め、国語を尊重することにより日本の伝統と文化を尊重する態度を育成する。
キャリア教育	人間と人間との関係の中で、互いの立場や生き方、考え方を尊重しながら、言語を通して円滑に相互伝達、相互理解を進めていく能力を高める。

3　授業形態と学習方法

授業形態	基本的には一斉授業形式で行う。教科書、ワークシート、必要に応じ便覧も使用する。
学習方法	・一斉授業の中でペアワークやグループワークを実施する。 ・指示されたことには確実に取り組む。授業では黒板に書かれたことをただ書き写すのではなく、進んでメモをとる。 ・小テストや提出課題を適宜行い、評価に加える。単元ごとにワークシート提出を行い、評価に加える。

4　評価規準

知識・技能　知	思考・判断・表現　思	主体的に学習に取り組む態度　主
・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けようとしている。	・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしようとしている。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

5　学習計画

	単元名	学習活動(指導内容)	計画時間	実施時間	評価方法
前期	第１章　ことばをひらく	ことばの学びに向けて	2		・考査(知，思，主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	第２章　日本語を使いこなす	ことばの使い分け 正しく書こう 文を整え、文をつなぐ	6		・考査(知，思，主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	第３章　わかりやすく説明する	説明のしかたをとらえよう 絵や写真を説明しよう 料理レシピを書こう ショートスピーチをしよう	１２		・考査(知，思，主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	第４章　聞く力を育む	聞き取りのレッスン ミニインタビューをしよう	3		・考査(知，思，主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	第５章　論理的に読み取る	論理の展開を読み取ろう	9		・考査(知，思，主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	定期考査	中間考査，期末考査	2		
後期	第６章　伝え合いのレッスン	対話のレッスン テーマを決めて話し合おう	6		・考査(知，思，主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	第７章　説得力を高める	意見文の基礎を学ぼう 反対意見を想定した意見文を書こう	6		・考査(知，思，主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	第８章　情報と向き合う	情報を吟味しながら読もう レポートを書こう	１３		・考査(知，思，主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	第９章　他者を動かす	プレゼンテーションをしよう	7		・考査(知，思，主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	第１０章　社会に目を向けて	自分の考えを深めながら読もう	5		・考査(知，思，主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	定期考査	中間考査，学年末考査	2		

6　単位認定の要件

欠課時数が３割を超えないこと。学年末評定において「１」が付かないこと。

7　教科担任より

「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の言語活動をとおして、実社会で活用ができる、確かな言葉の力を身につけることをねらいとしています。自ら目標を持ってさまざまな学習にチャレンジしましょう。提出物の期限を守ることが大切です。

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	言語文化	単位数	2	必修・選択	対象学年	１学年
使用教科書	新編　言語文化　改訂版　（大修館書店）					
副教材等	新全訳古語辞典（大修館書店）					

1　学習の目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
(2) 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
(3) 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

2　道徳教育，キャリア教育との関連

道徳教育	言語文化に関する関心を深め、国語を尊重することにより日本の伝統と文化を尊重する態度を育成する。
キャリア教育	人間と人間との関係の中で、互いの立場や生き方、考え方を尊重しながら、言語を通して円滑に相互伝達、相互理解を進めていく能力を高める。

3　授業形態と学習方法

授業形態	基本的には一斉授業形式で行う。教科書、ワークシート、必要に応じ便覧も使用する。
学習方法	・一斉授業の中でペアワークやグループワークを実施する。 ・指示されたことには確実に取り組む。授業では黒板に書かれたことをただ書き写すのではなく、進んでメモをとる。 ・小テストや提出課題を適宜行い、評価に加える。単元ごとにワークシート提出を行い、評価に加える。

4　評価規準

知識・技能　知	思考・判断・表現　思	主体的に学習に取り組む態度　主
・言葉には文化の継承、発展、創造の働きがあることを理解し、我が国の言語文化に特徴的な語句の知識、語感の理解を増やしている。	・書くことにおいて深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めている。	・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしている。

5　学習計画

	単元名	学習活動(指導内容)	計画時間	実施時間	評価方法
前期	1　【現代文】 ことばと出会う	ドリアン助川 「言葉の森を育てよう」	2		・考査(知, 思, 主)・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思)・学習活動の取組(主)
	2　【古文】 古文に親しむ	宇治拾遺物語 「児のそら寝」	4		・考査(知, 思, 主)・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思)・学習活動の取組(主)
	3　【漢文】 漢文に親しむ	訓読のきまり/格言/再読文字	4		・考査(知, 思, 主)・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思)・学習活動の取組(主)
	4　【現代文】 表現を味わう	川上弘美 「水かまきり」	3		・考査(知, 思, 主)・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思)・学習活動の取組(主)
	5　【古文】 古文に親しむ	今昔物語集 「阿蘇の史、盗人にあひてのがるること」	4		・考査(知, 思, 主)・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思)・学習活動の取組(主)
	6　【漢文】 現代に生きることば	守株/五十歩百歩	4		・考査(知, 思, 主)・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思)・学習活動の取組(主)
	7　【現代文】 文化を見つめる	黛まどか 「アナログ的な日本の四季」	4		・考査(知, 思, 主)・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思)・学習活動の取組(主)
	8　【古文】 随筆を楽しむ	徒然草 「高名の木登り/奥山に猫またといふもの」	4		・考査(知, 思, 主)・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思)・学習活動の取組(主)
	9　【漢文】	蛇足/借虎威	4		・考査(知, 思, 主)・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思)・学習活動の取組(主)
	定期考査	中間考査/期末考査	2		
後期	10　【現代文】 物語を受け継ぐ	芥川龍之介 「羅生門」	8		・考査(知, 思, 主)・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思)・学習活動の取組(主)
	11　【古文】 随筆を楽しむ	枕草子 「うつくしきもの/にくきもの」	3		・考査(知, 思, 主)・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思)・学習活動の取組(主)
	12　【漢文】 古人に学ぶ	論語　学問のすすめ／社会に生きる	3		・考査(知, 思, 主)・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思)・学習活動の取組(主)
	13　【現代文】 ことばと生きる	又吉直樹 「祖父が笑うということ」	3		・考査(知, 思, 主)・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思)・学習活動の取組(主)
	14　【古文】 物語の広がり	伊勢物語 「芥川/筒井筒／あづま下り」	5		・考査(知, 思, 主)・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思)・学習活動の取組(主)
	15　【漢文】 漢文を楽しむ	完璧/鶏鳴狗盗	4		・考査(知, 思, 主)・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思)・学習活動の取組(主)
	16　【現代文】 近代文学に触れる	夏目漱石 「夢十夜」	3		・考査(知, 思, 主)・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思)・学習活動の取組(主)
	17　【詩歌の調べ】	春のうた／夏のうた／秋のうた／冬のうた	4		・考査(知, 思, 主)・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思)・学習活動の取組(主)
	定期考査	中間考査/学年末考査	2		

6　単位認定の要件

欠課時数が３割を超えないこと。学年末評定において「１」が付かないこと。

7　教科担任より

授業では、本文を読むだけでなく、見たり、聞いたり、話したり、書いたりする活動も多くあります。本文をしっかりと正確に音読でき、古文・漢文では、辞書を引いたり文法書を参照したりしながら現代語訳をできるようにします。日本の伝統的な言語文化である言葉、音韻、修辞の豊かさ、素晴らしさに気づき、日本人のものの見方、考え方、感じ方を確認します。配られたワークシートは大切に保管し、復習した上で考査に臨みましょう。提出物の期限を守ることは、とても大事です。

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	歴史総合	単位数	2	必修・選択	対象学年	１学年
使用教科書	改訂版「私たちの歴史総合」清水書院					
副教材等	「私たちの歴史総合ワークノート」清水書院、「明解 歴史総合図説 シンフォニア 四訂版」(帝国書院)					

１．学習の目標

(1) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え，現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を 理解するとともに，諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的 に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
(2) 近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義，特色などを，時期や年 代，推移，比較，相互の関連や現在とのつながりなどに着目して，概念な どを活用して多面的・多角的に考察したり，歴史に見られる課題を把握し 解決を視野に入れて構想したりする力や，考察，構想したことを効果的に 説明したり，それらを基に議論したりする力を養う。
(3) 近現代の歴史の変化に関わる諸事象について，よりよい社会の実現を視 野に課題を主体的に追究，解決しようとする態度を養うとともに，多面的 ・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚，我 かん が国の歴史に対する愛情，他国や他国の文化を尊重することの大切さにつ いての自覚などを深める。

２．道徳教育，キャリア教育との関連

道徳教育	社会の在り方を考察する基礎としての正義・幸福・構成の理解を通じて情報モラルを含めた現代社会の課題を取り上げ、人間の在り方・生き方について理解させる。
キャリア教育	我が国及び世界の形成の歴史的過程と特色についての理解と認識を深め、国際社会に主体的に生き、平和で民主的な国家・社会を形成する一員としての必要な自覚と資質を養う。

３．授業形態と学習方法

授業形態	(1)年間を通して遠隔授業となります。オリエンテーション時に何点か注意事項を説明しますので、特性を理解したうえで授業に臨んでください。 (2)遠隔授業ではGoogle workspaceをさまざまな場面で活用します。資料の配布、読み取り、課題の提出などで利用します。操作については都度説明しますので、慣れてください。 (3)適宜、ペアワークやグループワークを行います。相手の意見や主張を尊重しつつ、自らの意見や主張を積極的に発信していきましょう。 (4)教科の特性上、学習事項が多岐にわたります。受け身な姿勢だけではなく、ぜひ主体的に学ぶようにしてください。わからないことがあったらGoogleクラスルームなどを活用して積極的に質問してください。
学習方法	４月最初の授業で、詳細を説明します。教科書・副読本以外で準備するものがあればその時に連絡します。

４．評価規準

知識・技能　知	思考・判断・表現　思	主体的に学習に取り組む態度　主
近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、世界とその中の日本を広く相互的な視野から捉え、現代的な諸課題の形成に関わる近現代の歴史を理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けている。	近現代の歴史の変化に関わる事象の意味や意義、特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、歴史に見られる課題を把握し解決を視野に入れて構想したりするカや、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりしている。	近現代の歴史の変化に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野に課題を主体的に追究、解決しようとしている。

５　学習内容

5	単元名	学習活動(指導内容)	予定時間	実施時間	評価方法
4月	オリエンテーション 第1章　歴史の扉 1節　歴史と私たち 2節　歴史の特質と資料 第２章　近代化と私たち 1節　近代化への問い	ガイダンス ・歴史と私たち ・歴史の特質と資料 ・近代化への問いの設定	5		①提出物の記述等 ②ワークシートへの記述、グループワーク等での活動等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等
5月	2節　結び付く世界と日本の開国	・18世紀の東アジア ・18 世紀のヨーロッパとアジア ・産業革命 ・日本の開国	7		①提出物の記述等 ②ワークシートへの記述、グループワーク等での活動等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等
6月	3節　国民国家と明治維新	・市民革命と近代国家 ・市民革命と近代国家 ・自由主義とナショナリズム			①定期考査や提出物の記述等 ②ワークシートへの記述、グループワーク等での活動等

6月		・明治維新 ・帝国主義と植民地 ・日清戦争・日露戦争 ・20世紀はじめの世界 ◇前期中間考査	10		③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等
7月	4節　近代化と現代的な諸課題 第3章　国際秩序の変化や大衆化と私たち 1節　国際秩序の変化や大衆化への問い	・近代化と現代的な諸課題 ・大衆化への問いの設定	4		①提出物の記述等 ②ワークシートへの記述、グループワーク等での活動等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等
8月・9月	2節　第一次世界大戦と大衆社会	・大衆社会 ・第一次世界大戦 ・国際協調体制の形成 ・ソ連の成立とアメリカの台頭 ・反植民地主義の高揚 ・民主主義の発達 ◇前期期末考査	10		①定期考査や提出物の記述等 ②ワークシートへの記述、グループワーク等
10月・11月	3節　経済危機と第二次世界大戦 4節　国際秩序の変化や大衆化と現代的な諸課題	・世界恐慌 ・日中戦争 ・第二次世界大戦 ・アジア太平洋戦争 ・占領政策と冷戦 ・再編されるアジアと冷戦 ◇後期中間考査 ・大衆化と現代的な諸課題	11		①定期考査や提出物の記述等 ②ワークシートへの記述、グループワーク等での活動等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記
12月・1月	第4章　グローバル化と私たち 1節　グローバル化への問い 2節　冷戦と世界経済	・グローバル化への問いの設定 ・冷戦の拡大と第三勢力 ・キューバ危機 ・脱植民地化の進展と地域紛争 ・計画経済と開発 ・冷戦下の日本とアジア ・日本と欧米先進国の経済成長 ・ベトナム戦争と冷戦構造の変容	10		①提出物の記述等 ②ワークシートへの記述、グループワーク等での活動等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記
2月	3節　世界秩序の変容と日本	・石油危機と経済の自由化 ・アジアの経済発展と日本 ・冷戦の終結と世界 ・拡散する地域紛争 ・民主化の進展 ・グローバル化と地域統合 ・岐路に立つ世界と日本 ◇学年末考査	7		①定期考査や提出物の記述等 ②ワークシートへの記述、グループワーク等での活動等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等
3月	4節　現代的な諸課題の形成と展望	・現代的な諸課題の形成と展望	6		①提出物の記述等 ②ワークシートへの記述、グループワーク等での活動等 ③毎時の取組状況、振り返りシートなどの記入状況等

6　単位認定の要件

欠課時数が3割を超えないこと。学年末評定において「1」が付かないこと。
7　教科担任より毎回の授業をしっかり受け、定期考査に向けてはしっかり復習するようにしましょう。歴史的事象と現代の我々の生活とを比較し当時の人々の生活に思いをめぐらそう。また、史料を読んでの自分の考えや感想を書こう。 遠隔配信センターの担当者との調整が済んでいないので、変更があるかもしれません。(4／1現在)

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	数学Ⅰ	単位数	4	必修・選択	対象学年	１学年
使用教科書	改訂版　新編　数学Ⅰ　(数研出版)					
副教材等	改訂版　教科書傍用　3TRIAL　(数研出版)					

1．学習の目標

数学的な見方・考え方を働かせ，数学的活動を通して，数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。
(1) 数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解するとともに，事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。
(2) 命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養う。
(3) 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度，粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度，問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養う。

2．道徳教育，キャリア教育との関連

道徳教育	数学的活動をとおして、原理や法則の体系的な理解を深め、数学的論拠に基づいて判断する態度を育てる。
キャリア教育	数学的活動をとおして、創造性の基礎を養うとともに、事象を数学的に考察し処理する能力を高める。

3．授業形態と学習方法

授業形態	習熟度別２段階クラス編成で授業を行います。応用クラスは遠隔授業になります。 授業の進度は基礎と応用に変わりありませんが、基礎クラスは基礎から確実に学力が定着することをねらいとし、応用クラスはより応用的な力が身に付くことをねらいとして授業を行います。
学習方法	１　まずは授業を大切にしてください。 ノートを取ることよりも、先生の話に集中し理解する。話の中で大事だと思った事は、すぐにメモを取る。板書を写すだけでなく、後で勉強しやすいように、自分だけのノートを作り上げてください。 ２　予習・復習を行ってください。 宿題をすることは当然のことですが、その日のうちに授業の復習をしなければ、どんどん忘れます。復習をした後は、明日の予習。教科書を読み例題を解きましょう。数学の力は「どれだけ問題数を解いたか」で決まります。１日５問でも、１年で約１８００問。積み重ねを大事にしてください。

4．評価規準

知識・技能 (知)	思考・判断・表現 (思)	主体的に学習に取り組む態度 (主)
・数と式，図形と計量，二次関数及びデータの分析についての基本的な概念や原理・法則を体系的に理解している。 ・事象を数学化したり，数学的に解釈したり，数学的に表現・処理したりすることに関する技能を身に付けている	命題の条件や結論に着目し，数や式を多面的にみたり目的に応じて適切に変形したりする力，図形の構成要素間の関係に着目し，図形の性質や計量について論理的に考察し表現する力，関数関係に着目し，事象を的確に表現してその特徴を表，式，グラフを相互に関連付けて考察する力，社会の事象などから設定した問題について，データの散らばりや変量間の関係などに着目し，適切な手法を選択して分析を行い，問題を解決したり，解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を身に付けている。	・数学のよさを認識し数学を活用しようとしたり，粘り強く考え数学的論拠に基づき判断しようとしたりしている。 ・問題解決の過程を振り返って考察を深めたり，評価・改善したりしようとしている。

5．学習計画

	単元名	学習活動(指導内容)	時間	評価方法
前期	第１章　数と式	第１節　式の計算 第２節　実数 第３節　１次不等式	24	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	第２章　集合と命題		11	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	第３章　２次関数	第１節　２次関数とグラフ 第２節　２次関数の値の変化	18	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	演習	既習内容の演習	15	
	定期考査	中間考査，期末考査	2	
後期	第３章　２次関数	第３節　２次方程式と２次不等式	15	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	第４章　図形と計量	第１節　三角比 第２節　三角形への応用	25	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	第５章　データの分析		12	・考査(知，思，主)，振り返り(主) ・小テストの結果(知) ・ワークシートへの記述(思) ・学習活動の取組(主)
	演習	既習内容の演習	16	
	定期考査	中間考査，学年末考査	2	

6．単位認定の要件

欠課時数が３割を超えないこと。
学年末評定において「１」が付かないこと。

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	科学と人間生活	単位数	2	(必修)・選択	対象学年	１学年
使用教科書	改訂　科学と人間生活(東京書籍)					
副教材等	ワーク：ニューサポート 改訂　科学と人間生活(東京書籍)					

１．学習の目標

(1) 自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについての理解を深め，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する技能を身に付けるようにする。
(2) 観察，実験などを行い，人間生活と関連付けて科学的に探究する力を養う。
(3) 自然の事物・現象に進んで関わり，科学的に探究しようとする態度を養うとともに，科学に対する興味・関心を高める。

２．道徳教育，キャリア教育との関連

道徳教育	自然と人間のかかわりについて認識を深め、観察や実験を行い、科学的な探求能力を育て、真理を大切にする態度を育成する。
キャリア教育	自然の事物・現象を観察する力を育成し、自ら論考・探求する力を育む。

３．授業形態と学習方法

授業形態	○基本的に一斉授業形式で行う。実験等がある場合，適宜化学教室で授業を行う。 ○筆記用具として最低３色(黒，赤，もう一色)は準備すること。 ○教科書，ファイル(２つ穴)，ワークを持ってくること。
学習方法	通常の授業では話をしっかり聴き，プリントに記入していくこと。特にプリントの内容だけでなく話の内容からメモをとり，「自分だけのプリントを作り上げる」ということを意識すること。 プリントは適宜回収，評価する。

４．評価規準

知識・技能 [知]	思考・判断・表現 [思]	主体的に学習に取り組む態度 [主]
自然と人間生活との関わり及び科学技術と人間生活との関わりについて理解するとともに，科学的に探究するために必要な観察，実験などに関する基本的な技能を身に付けている。	観察，実験などを行い，科学的に探究することができる。	自然の事物・現象に主体的に関わり，科学的に探究しようとしている。また，科学に対する興味・関心を高めようとしている。

５．学習計画

	単元名	学習活動(指導内容)	実施	予定	評価方法
前期	序章 科学技術の発展 １編 生命の科学	序章　科学技術の発展 １章　微生物とその利用 ２章　ヒトの生命現象		25	・単元テスト(知，思)，振り返り(主) ・課題，レポートへの取組(主) ・授業への取組(知，思，主) ・ワーク(思，主)
前期	２編 物質の科学	１章　材料とその再利用 ２章　衣料と食品		16	・単元テスト(知，思)，振り返り(主) ・課題，レポートへの取組(主) ・授業への取組(知，思，主) ・ワーク(思，主)
後期	３編 光や熱の科学	１章　光の性質とその利用 ２章　熱の性質とその利用		17	・単元テスト(知，思)，振り返り(主) ・課題，レポートへの取組(主) ・授業への取組(知，思，主) ・ワーク(思，主)
後期	４編 宇宙や地球の科学	１章　太陽と地球 ２章　自然景観と自然災害		12	・単元テスト(知，思)，振り返り(主) ・課題，レポートへの取組(主) ・授業への取組(知，思，主) ・ワーク(思，主)

６．単位認定の要件

欠課時数が３割を超えないこと。
学年末評定において「１」が付かないこと。

７．教科担任より

科学と人間生活は，日常生活と深く関わりのある科学について，物理・化学・生物・地学を広く網羅する科目です。これまで素通りしていた科学の現象を一緒に見つけていきましょう。定期考査はありませんが，単元テストや小テストはあります。

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	体育	単位数	3	必修・選択	対象学年	１学年
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）					
副教材等	ワーク：現代高等保健体育ノート（大修館書店）　ステップアップ高校スポーツ 2024					

１．学習の目標

(1) 運動の合理的，計画的な実践を通して，運動の楽しさや喜びを深く味わい，生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため，運動の多様性 や体力の必要性について理解するとともに，それらの技能を身に付けるようにする。
(2) 生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
(3) 運動における競争や協働の経験を通して，公正に取り組む，互いに協力する，自己の責任を果たす，参画する，一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに，健康・安全を確保して，生涯にわたって継続して運動に親しむ態度を養う。

２．道徳教育・キャリア教育

道徳教育	運度の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや自身の課題を見つけ、パフォーマンス向上に向けた取り組みを積極的に行う姿勢と仲間を大切にする態度育成する。
キャリア教育	運動における協働の経験を通し、ルールを守り、安全に、互いに協力し合いながら自己の責任を果たす態度を育成する。

３．授業形態と学習方法

授業形態	(実技)・体育館またはグラウンドにて各種目の実技 ・男女共修（種目や時期によって１～３学年合同） ・種目毎にスキルテスト実施 (体育理論)・教室にて座学またはグループ学習
学習方法	(実技) 事前準備、整理・整頓、準備運動、種目説明、部分練習、応用練習、後片付け、整列・挨拶 (体育理論) 教科書、授業プリント、学習シート、端末等使用し知識を深める。

４．評価の種類

知識・技能 知	思考・判断・表現 思	学びに向かう力 主
運動の合理的、計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解しているとともに、それらの技能を身に付けようとしているか。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的、計画的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝えているか。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む，互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する，一人一人の違いを大切にしようとするとともに、健康・安全を確保しようとしている。

5．評価基準
※　別紙参照

前期評定	後期評定	観点別評価（基準）
5	5	AAA　AAB　ABA　BAA
4	4	ABB　AAC　ACA　BAB　BBA
3	3	ABC　ACB　BAC　BBB　CAA　BCA CAB　CBA　ACC　BBC　BCB　CBB
2	2	CAC　CCA　BCC　CBC　CCB
1	1	CCC

A：十分満足できる　B：おおむね満足できる　C：努力を要する

6．学習活動

	単元名	学習活動（指導内容）	時間	実施	評価方法
前期	体つくり運動（4月）	・オリエンテーション ・体つくり運動 ・体力測定	１０		・スキルテスト知 ・授業観察思 ・試合観察知・思・主
	陸上競技（5～6月）	・短距離 ・持久走	１５		・ワークシート思・主
	ソフトボール（6～7月）	・投球、打撃、守備、走塁練習 ・ゲームのルール	１５		・スキルテスト知 ・授業観察思
	サッカー（7月～9月）	・パス、シュート、ドリブル ・ミニゲーム	１５		・試合観察知・思・主 ・ワークシート思・主
			計 ５５		
後期	バドミントン（１０月～１１月）	・各種ストローク ・各種サーブ ・フットワーク ・ゲームのルール	１８		・スキルテスト知 ・授業観察思 ・試合観察知・思・主 ・ワークシート思・主
	柔道（１２月）	・礼法、受身、体さばき、投げ技	８		
	バレーボール（1月～2月）	・サーブ、レシーブ ・ゲームのルール ・礼法、受身、体さばき、投げ技	１８		
	体育理論（3月）	・座学、グループ学習、確認テスト	６		
			計 ５０ 累計１０５		

7．単位認定の要件

欠時数が3割を超えないこと
学年末評定において「1」がつかないこと。

8．教科担任より

運動が得意な人も苦手な人も、運動の楽しさや大切さ、奥深さを存分に感じてほしいと思います。積極的に取り組もう！

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	保健	単位数	1	必修・選択	対象学年	1学年
使用教科書	現代高等保健体育（大修館書店）					
副教材等	ワーク：現代高等保健体育ノート（大修館書店）					

1．学習の目標

(1) 個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに，技能を身に付けるようにする。
(2) 健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝える力を養う。
(3) 生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指し，明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

2．道徳教育・キャリア教育

道徳教育	学習した内容が自身の生活・将来の生活に関連していることを認識し、実践する態度を育てる。
キャリア教育	意見発表や討論をなどの言語活動を通してコミュニケーション能力の育成を図り、自他の生命を尊重する態度を育てる。

3．授業形態と学習方法

授業形態	教室にて、座学またはグループ学習
学習方法	教科書、ノート、資料等を用いて知識を深める。 単元により、意見発表やグループ討論を行い関心や理解を深める。

4．評価の種類

知識・技能 知	思考・判断・表現 思	学びに向かう力 主
個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるとともに，技能を身に付けようとしているか。	健康についての自他や社会の課題を発見し，合理的，計画的な解決に向けて思考し判断するとともに，目的や状況に応じて他者に伝えているか。	生涯を通じて自他の健康の保持増進やそれを支える環境づくりを目指そうとしているか。

5．評価基準

【　知識　】

① 単元テスト、レポート、パワーポイント発表

【　思考・判断・表現　】

① 健康に関わる原則や概念をもとに整理したり、個人及び社会生活と関連付けたりして、自他や社会の課題を発見している。
② 自他や社会の課題の解決方法と、それを選択した理由などを話し合ったり、ノート等に記述し、説明している。

＋

③ **国民の健康課題**について、健康水準の向上や疾病構造の変化に関するデータを分析し、生活の質の向上に向けて整理すること。ヘルスプロモーションについて整理している。
③ **感染症**の発生や流行の違いについて、リスクを軽減するための個人および社会の対策に応用している。
③ **生活習慣病**などの予防や回復について、習得した知識を基に生活の質の向上に向けた個人や社会の取り組みや対策を整理している。
③ **喫煙、飲酒、薬物乱用**の防止について、個人への働きかけ　と社会環境への対策の面から分析したり、防止案を評価している。
③ **精神疾患**の予防と回復について、心身の健康を保ち、不調　に早く気付くために必要な取り組みや社会的な対策を整理している。

【　学びに向かう力　】

① 単元毎の課題解決に向けた学習活動に主体的に取り組もうとしている。

前期評定	後期評定	観点別評価（基準）
5	5	AAA　AAB　ABA　BAA
4	4	ABB　AAC　ACA　BAB　BBA
3	3	ABC　ACB　BAC　BBB　CAA　BCA CAB　CBA　ACC　BBC　BCB　CBB
2	2	CAC　CCA　BCC　CBC　CCB
1	1	CCC

A：十分満足できる　B：おおむね満足できる　C：努力を要する

6．学習活動

	単元名	学習活動（指導内容）	時間	実施	評価方法
前期	**現代社会と健康**	００ オリエンテーション（４月） ０１ 健康の考え方と成り立ち（４月） ０２ 私たちの健康のすがた（４月） ０３ 生活習慣病の予防（５月） ０４ がんの原因と予防（５月） ０５ がんの治療と回復（６月） **→ レポート作成（生活習慣病）** ０９ 喫煙と健康（７月） １０ 飲酒と健康（７月） １１ 薬物乱用と健康（８月） **→ レポート作成（喫煙・飲酒・薬物から１つ）** **単元テスト**	1 1 1 4 2 2 2 1 2 1		・単元テスト 知・思 ・授業観察 思・主 ・レポート 知・思 ・ノート 主
			計 １７	計	
後期	**現代社会と健康** **安全な社会生活**	０６運動と健康（１０月） ０７食事と健康（１０月） ０８休養・睡眠と健康（１０月） １５現代の感染症（１１月） １６感染症の予防（１１月） １７性感染症・エイズとその予防（１１月） **→ レポート（感染症）** １８健康に関する意思決定・行動選択（１２月） １９健康に関する環境づくり（１２月） **パワーポイント作成（単元から１つ選択）** **発表会①（２月）** **発表会②（２月）** ０１事故の現状と発生要因（３月） ０２安全な社会の形成（３月） ０３交通における安全（３月）	1 1 1 4 2 1 3 1 1 1 1 1		・発表会 知・思 ・授業観察 思・主 ・レポート 知・思 ・ノート 主
			計 １８ 累 ３５	計 累	

7．単位認定の要件

欠時数が３割を超えないこと
学年末評定において「１」がつかないこと。

8．教科担任より

保健の授業はよりよい生活をするために必要な授業です。一生懸命取り組もう！

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	英語ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝⅠ	単位数	3	必修・選択	対象学年	1学年
使用教科書	All Aboard! English Communication Ⅰ Revised（東京書籍）					
副教材等	総合英語 be 5th Edition、総合英語be 5th Edition English Grammar 24、改訂版 必携 英単語 LEAP Basic、All Abroad! English Communication Ⅰ　WORKBOOK					

１．学習の目標

日常的・社会的な話題について，多くの支援を活用すれば，
1．必要な情報を聞き取り，話し手の意図を把握したり，概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
2．必要な情報を読み取り，書き手の意図を把握したり，概要や要点を目的に応じて捉えたりすることができる。
3．基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを話して伝え合うやり取りを続けたり，論理性に注意して話して伝え合ったりすることができる。
4．基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して話して伝えることができる。
5．基本的な語句や文を用いて，情報や考え，気持ちなどを論理性に注意して文章を書いて伝えることができる。

２．道徳教育，キャリア教育との関連

道徳教育	異文化を尊重し言語によるコミュニケーションを図り、国際的視野に立って世界の平和と人類の幸福に貢献する態度を育てる。
キャリア教育	外国語を通して、言語や文化に対する理解を深め、コミュニケーションに対する積極的な態度の育成と、相手の意見の理解力や自分の意見の表現力を養う。

３．授業形態と学習方法

授業形態	○　通常授業は、クラスにて一斉授業を行う。 ○　単元テスト・単語テストを実施する。（定期考査なし） ○　通常授業で必要な物：教科書、ファイル、英単語帳、タブレット端末 ○　授業で習った英語表現をペア・グループワークの中で、アクティビティ（活動）をしながら練習します。
学習方法	板書に相当する内容が書かれているハンドアウトを配布します。教員は基本的にこのハンドアウトを使い授業を行います。

４．評価規準

知識・技能　知	思考・判断・表現　思	主体的に学習に取り組む態度　主
外国語を聞いたり読んだりして、情報や考えなどを的確に理解している。言語やその運用についての知識を身に付けているとともに、その背景にある文化などを理解している。	外国語で話したり書いたりして、情報や考えなどを適切に伝えている。	コミュニケーションに関心をもち、積極的に言語活動を行い、コミュニケーションを図ろうとする。

５．学習計画

	単元名	学習活動(指導内容)	計画時間	実施時間	評価方法
前期	Warm - Up	アルファベット、教室で使う表現、辞書の使い方／疑問詞	6		・振り返り（主） ・確認テスト（知、思） ・課題への取組（主） ・授業への取組（知，思，主） ・ノート（思，主）
	Pre - Lesson 1	be 動詞	7		
	Pre - Lesson 2	一般動詞	8		
	Lesson 1	過去形	12		
	Lesson 2	進行形	12		
	Lesson 3	助動詞	12		
後期	Lesson 4	to 不定詞	12		
	Lesson 5	動名詞	12		・振り返り（主） ・確認テスト（知，思） ・課題への取組（主） ・授業への取組（知，思，主） ・ノート（思，主）
	Lesson 6	受け身	12		
	Lesson 7	比較表現	12		

６．単位認定の要件

欠課時数が３割を超えないこと。
学年末評定において「１」が付かないこと。

７．教科担任より

授業では音読、ペアワーク、グループワーク、アクティビティ、プレゼンテーションなど個人で行う内容と集団で行う内容があり、授業形態が切り替わります。授業には集中して臨み、指示を聞き逃さないようにしてください。プレゼンテーションを行う前には、計画的に準備し、スクリプトを声に出して練習してから臨んでください。グループでプレゼンテーションを行う前には、役割分担をして計画的に全員で練習をしてください。また、評価基準をふまえて準備を行ってください。

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	家庭基礎（遠隔授業）	単位数	2	必修・選択	対象学年	１学年
使用教科書	「図説家庭基礎」（実教出版）					
副教材等	「図説家庭基礎準拠学習ノート」（実教出版）					

１．学習の目標

(1) 人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
(2) 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を養う。
(3) 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を養う。

２．道徳教育，キャリア教育との関連

道徳教育	生活を主体的に営むために必要な知識を学び、それらに係る技能を習得することで実践的な態度を育てる。
キャリア教育	コミュニケーション能力、思考力・判断力・表現力を育む。

３．授業形態と学習方法

授業形態	○座学（一斉授業）及び実技を伴う実習（被服実習や調理実習など）。 ○定期考査は年４回実施する予定。
学習方法	○タブレットを用いた活動及びプリント学習等を行う。

４．評価規準

知識・技能　知	思考・判断・表現　思	主体的に学習に取り組む態度　主
人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらにかかわる技能を身につけている。	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらにかかわる技能を身につけている。	人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え，家族・家庭の意義，家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め，生活を主体的に営むために必要な家族・家庭，衣食住，消費や環境などについて理解しているとともに，それらにかかわる技能を身につけている。

５．学習計画

	単元名	学習活動(指導内容)	予定時数	実施時数
前期	オリエンテーション	家庭科を学ぶにあたって	1	
	第６章 衣生活をつくる	①人と衣服のかかわり　②健康で安全な衣服　③衣服素材の種類と特徴　④衣服素材の性能と改善　⑤衣生活の計画と購入　⑥衣服の管理 ⑦家庭での洗濯・保管　⑧持続可能な衣生活をつくる　【被服実習】	6	
	第１章 自分らしい生き方と家族	①生涯発達する人生　②これからの人生をデザインする　③青年期を生きる　④生活を支える労働　⑤生活時間から見えてくるもの　⑥男女共同参画社会をめざして　⑦現代の家族 ⑧家族・家庭を取り巻く社会環境の変化や課題　⑨家族に関する方散るの理念と変化 ⑩家族にかかわる法律	8	
	第２章 子どもとかかわる	①子どもの誕生　②からだの発達　③運動機能の発達と知的発達　④かかわりのなかの発達 ⑤子どもの生活習慣と健康　⑥子どもの食生活・衣生活　⑦子どもと遊び　⑧親になることを考えよう　⑨すこやかに育つ環境と支援　⑩子どもを守る法律・制度	8	
	第５章 食生活をつくる	①私たちの食生活と健康　②５大栄養素　③炭水化物　④脂質　⑤たんぱく質　⑥ミネラル ⑦ビタミン　⑧その他の食品　⑨食品の選択と表示　⑩食品の衛生 ⑪食料自給率と食のグローバル化　⑫食の未来と環境への取り組み ⑬食事摂取基準　⑭食品群別摂取量のめやす ⑮献立作成　⑯調理の基本【調理実習】	8	
後期	第８章 経済的に自立する	①日々の収入・支出を把握する　②社会と家計の変化　③長期的な経済計画を立てる ④経済のなかの家計	6	
	第９章 消費行動を考える	①契約と主体的な消費行動　②多様化する販売方法と問題商法　③消費者を守る制度・法律 ④多様化する支払い方法　⑤消費者の権利と責任　⑥持続可能な社会の構築　⑦持続可能な社会をめざす取り組み	8	
	第３章 高齢期とかかわる	①高齢社会に生きる　②高齢者を知る　③高齢者のサポートと介護の心　④高齢者かを支えるしくみ	8	
	第４章 社会とかかわる	①共に生きるために　②社会保険制度−公助−　③社会の一員としての	7	

		私たちの役目-互助・共助-		
	第7章 住生活をつくる	①人と住まいのかかわり　②平面計画からみた住空間　③ライフステージと住まいの計画 ④健康に配慮した住まい　⑤安全な住まい　⑥持続可能な住まい　⑦これからの住まい	8	
	定期考査	前期期末考査，学年末考査	2	
計			70	
評価方法	・学習活動の観察(主)、ワークシート (知, 思)、実験実習 (主)、テスト (知)			

6．単位認定の要件

欠課時数が3割を超えないこと。
学年末評定において「1」が付かないこと。

7．教科担任より

(1) 授業に集中し、積極的に活動に取り組んでいきましょう。
(2) 提出物は内容や期限を意識するだけではなく、整理と管理まで心がけましょう。
(3) 技術だけ身につけるのだけではなく、様々な学習を行います。日々の暮らしの全てが家庭科の学びの機会です。皆さんの生活の充実を目指していきましょう。
(4) 得意不得意はあると思いますが、感じたことや考えたことを自ら考え発言(記述)し、コミュニケーションをとっていきましょう。

令和８年度　北海道上ノ国高等学校　シラバス

科目名	情報Ⅰ	単位数	2	必修・選択	対象学年	１学年
使用教科書	最新情報Ⅰ新訂版（実教出版）					
副教材等	最新情報Ⅰ新訂版学習ノート（実教出版）					

１．学習の目標

(1)効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能と習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めるようにする。
(2)様々な事象を問題の発見・解決に向けた情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する力を養う。
(3)情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度を養う。

２．道徳教育・キャリア教育

道徳教育	知識・技術・モラルを習得させ、社会の情報化に主体的に対応できる能力と態度を育てる。
キャリア教育	情報に関する科学的な見方や考え方を養い、それらが果たす役割や影響を理解させることによって、情報社会で適正な活動を行うために基となる考え方を身につけさせ、情報社会に参画する態度を育てる。

３．授業形態と学習方法

授業形態	(1)タブレット等を利用し、一斉授業で実施する。 (2)筆記用具とファイルを用意すること。 (3)定期考査を実施し、それ以外に実技試験やグループ活動を実施する。
学習方法	(1)実習活動は、口頭での説明が多くなるので、必要だと思ったことは積極的にメモすること。 (2)実技課題に関しては、授業内で終わらない場合は時間を見つけて取り組むこと。

４．評価基準

知識・技能 知	思考・判断・表現 思	主体的に学習に取り組む態度 主
効果的なコミュニケーションの実現、コンピュータやデータの活用について理解を深め技能と習得するとともに、情報社会と人との関わりについて理解を深めている。	様々な事象を情報とその結び付きとして捉え、問題の発見・解決に向けて情報と情報技術を適切かつ効果的に活用する事ができる。	情報と情報技術を適切に活用するとともに、情報社会に主体的に参画する態度が身についている。。

５．学習活動

	単元名	学習活動（指導内容）	標準時間	評価方法	実施時数
前期	第１章 情報社会と問題解決	1　情報と情報社会 2　知的財産と個人情報 3　問題解決	13	・考査（知、思、主） ・振り返り（主） ・確認テスト（知、思） ・課題への取組（知、思、主） ・授業への取組（知、思、主）	
	第２章 コミュニケーションと情報デザイン	1　メディアとコミュニケーション 2　情報デザイン 3　情報デザインの実践			
	第３章 情報のデジタル化とコンピュータ	1　情報のデジタル表現 2　コンピュータの仕組みと動作 3　情報デザイン	19	・考査（知、思、主） ・振り返り（主） ・確認テスト（知、思） ・課題への取組（知、思、主） ・授業への取組（知、思、主）	
後期	第４章 アルゴリズムとコンピュータ	1　アルゴリズムとプログラミング 2　プログラミングの実践 （Ｐｙｔｈｏｎ） 3　プログラミングの実践 （表計算マクロ）	23	・考査（知、思、主） ・振り返り（主） ・確認テスト（知、思） ・課題への取組（知、思、主） ・授業への取組（知、思、主）	
	第５章 情報通信ﾈｯﾄﾜｰｸとﾃﾞｰﾀ活用	1　情報通信ネットワークのしくみ 2　情報システムとデータベース 3　データの活用	15	・考査（知、思、主） ・振り返り（主） ・確認テスト（知、思） ・課題への取組（知、思、主） ・授業への取組（知、思、主）	
	第６章 データ活用とシミュレーション	1　データの活用 2　モデル化とシミュレーション 3　シミュレーションの実際			

６．単位認定の要件

(1)欠課時数が３割を超えないこと。
(2)学年末の成績で評定が「１」とならないこと。

７．教科担任より

情報があふれる現代において、いかにして必要な情報を収集・選択・加工することができるか、またそれらを利用して、これからの情報社会を判断して生きていくかが求められます。
授業中に学んだ内容を吸収し、各自が積極的に身に付けるようにしてください。